

## 「人口の動き（平成 14 年中）」の概要

この概要は、毎月公表している「東京都の人口（推計）」のデータをもとに、平成 14 年中における東京都の人口の動きを、性別、変動要因別（社会動態、自然動態等）地域別等にとりまとめたものである。

なお、特集「近年の増加人口の社会的属性について」と付録「江戸の人口について」を別途、掲載した。

### 1 この 1 年間の動きの主な特徴

平成 14 年中の 1 年間における東京都の人口（推計）に関する主な特徴は、次のとおりである。

#### （ 1 ）東京都の人口が過去最大を更新し続けている

（ 2、3、13、14 ページ）

東京都の人口は、平成 9 年から 7 年連続で増加を続け、平成 15 年 1 月 1 日現在で 12,289,519 人となり、過去最大を更新している。

平成 14 年中の増加人口は 101,805 人で、前年より 7,639 人減少した。平成 8 年中から増加が伸び続けたが、平成 14 年中で、やや鈍化した。

地域別にみると、区部の増加人口は 69,379 人で、前年より 7,072 人減少した。一方、市郡部の増加人口は 32,746 人で、前年より 706 人減少した。

#### （ 2 ）人口の都心回帰が進んでいる

（ 16、17、21 ページ）

都心 3 区の人口も、7 年連続で増加を続け、平成 15 年 1 月 1 日現在で 283,329 人となった。これは、昭和 64 年とほぼ同水準である。

平成 14 年中の増加人口は 5,111 人で、前年より 3,559 人減少した。

また、区部の人口をみると、前年に引き続き、23 区全ての区の人口が、そろって増加した。

なお、区市町村別にみると、増加人口が最も多かったのは町田市の 7,977 人であり、区部では江戸川区の 7,853 人が最も多かった。

#### （ 3 ）外国人登録人口は 34 万人となった

（ 10～12 ページ）

外国人登録人口も、7 年連続で増加を続け、平成 15 年 1 月 1 日現在で 344,221 人となった。

平成 14 年中の増加人口は 12,944 人で、前年より 12,179 人減少した。

国籍別にみると、最も多いのは中国の 114,233 人であり、また、増加率の高い国は、インドの 13.23%であった。

## 2 総人口の動き

平成 15 年 1 月 1 日現在における東京都の総人口は 12,289,519 人となった。

昭和 31 年以降の総人口の推移をみると、昭和 38 年に 1000 万人を、また昭和 43 年に 1100 万人を超え、昭和 63 年には 1189 万人まで増加した。その後、減少傾向に転じたが、平成 9 年に増加に転じ、平成 13 年には 1200 万人を突破した。

平成 14 年中の増加人口は 101,805 人で、前年より 7,639 人減少したものの、平成 8 年から 7 年連続で増加が続いている。

なお、都の人口が全国に占める割合の推移をみると、昭和 41 年の 11.00% から平成 9 年の 9.35% まで低下を続けたが、平成 10 年に上昇に転じ、平成 14 年の時点で 9.56% に達した(ただし、全国の人口は、各年 10 月 1 日現在における総務省発表の推計人口であり、時点の異なる数値で計算したことに注意。また、平成 14 年における全国の人口は概算値であることに注意。)

(図 1、表 1)

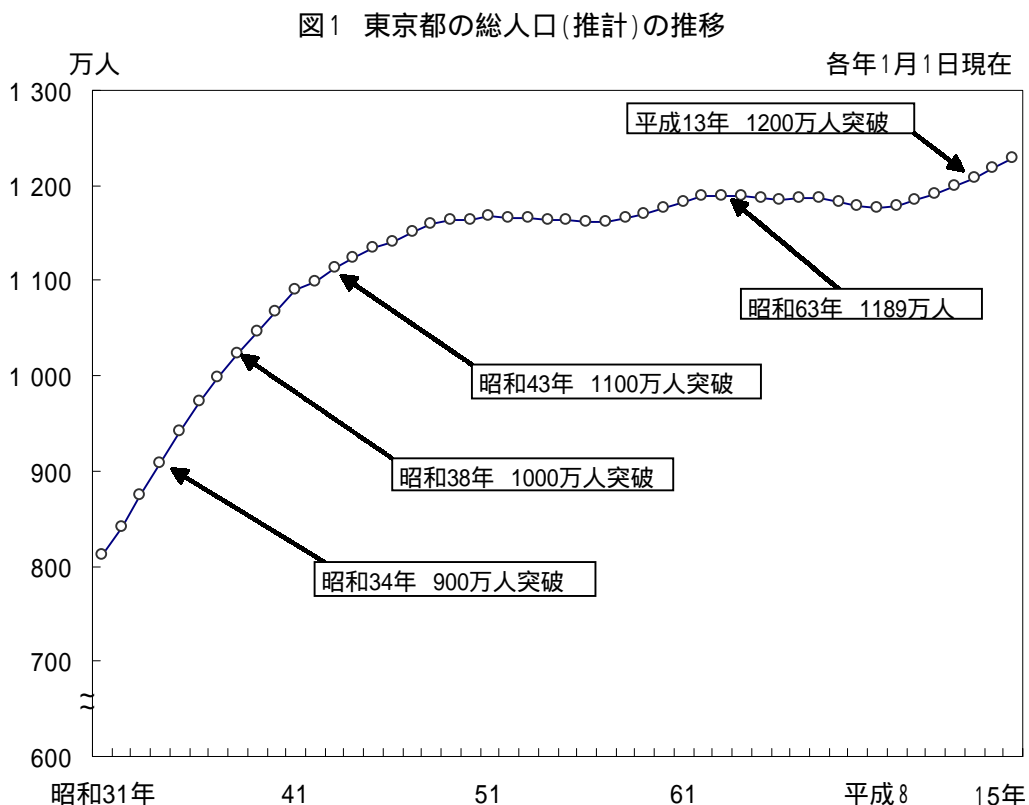


表1 総人口の推移(昭和31年～平成15年)

各年1月1日現在(単位:人)

各年10月1日現在(単位:千人)

年次	東京都			(参考)全国			(参考)
	総人口	増減人口	増減率(%)	総人口	増減人口	増減率(%)	構成比(%)
昭和31年(1956)	8 111 233	...	...	90 172	...	...	9.00
32	8 408 710	297 477	3.67	90 928	756	0.84	9.25
33	8 751 593	342 883	4.08	91 767	839	0.92	9.54
34	9 081 817	330 224	3.77	92 641	874	0.95	9.80
35(1960)	9 416 364	334 547	3.68	93 419	778	0.84	10.08
36	9 725 764	309 400	3.29	94 287	868	0.93	10.32
37	9 984 821	259 057	2.66	95 181	894	0.95	10.49
38	10 224 309	239 488	2.40	96 156	975	1.02	10.63
39	10 467 231	242 922	2.38	97 182	1 026	1.07	10.77
40(1965)	10 667 390	200 159	1.91	98 275	1 093	1.12	10.85
41	10 898 133	230 743	2.16	99 036	761	0.77	11.00
42	10 983 963	85 830	0.79	100 196	1 160	1.17	10.96
43	11 124 879	140 916	1.28	101 331	1 135	1.13	10.98
44	11 249 603	124 724	1.12	102 536	1 205	1.19	10.97
45(1970)	11 337 809	88 206	0.78	103 720	1 184	1.15	10.93
46	11 411 539	73 730	0.65	105 145	1 425	1.37	10.85
47	11 516 697	105 158	0.92	107 595	2 450	2.33	10.70
48	11 593 104	76 407	0.66	109 104	1 509	1.40	10.63
49	11 630 209	37 105	0.32	110 573	1 469	1.35	10.52
50(1975)	11 641 248	11 039	0.09	111 940	1 367	1.24	10.40
51	11 670 399	29 151	0.25	113 094	1 154	1.03	10.32
52	11 662 356	8 043	0.07	114 165	1 071	0.95	10.22
53	11 654 533	7 823	0.07	115 190	1 025	0.90	10.12
54	11 646 555	7 978	0.07	116 155	965	0.84	10.03
55(1980)	11 627 359	19 196	0.16	117 060	905	0.78	9.93
56	11 608 747	18 612	0.16	117 902	842	0.72	9.85
57	11 613 838	5 091	0.04	118 728	826	0.70	9.78
58	11 649 762	35 924	0.31	119 536	808	0.68	9.75
59	11 705 883	56 121	0.48	120 305	769	0.64	9.73
60(1985)	11 770 565	64 682	0.55	121 049	744	0.62	9.72
61	11 833 639	63 074	0.54	121 660	611	0.50	9.73
62	11 890 583	56 944	0.48	122 239	579	0.48	9.73
63	11 891 875	1 292	0.01	122 745	506	0.41	9.69
64	11 890 551	1 324	0.01	123 205	460	0.37	9.65
平成2(1990)	11 865 271	25 280	0.21	123 611	406	0.33	9.60
3	11 851 079	14 192	0.12	124 101	490	0.40	9.55
4	11 872 911	21 832	0.18	124 567	466	0.38	9.53
5	11 863 250	9 661	0.08	124 938	371	0.30	9.50
6	11 824 784	38 466	0.32	125 265	327	0.26	9.44
7(1995)	11 785 176	39 608	0.33	125 570	305	0.24	9.39
8	11 766 175	19 001	0.16	125 859	289	0.23	9.35
9	11 790 107	23 932	0.20	126 157	298	0.24	9.35
10	11 840 937	50 830	0.43	126 472	315	0.25	9.36
11	11 908 664	67 727	0.57	126 667	195	0.15	9.40
12(2000)	11 983 971	75 307	0.63	126 926	259	0.20	9.44
13	12 078 270	94 299	0.79	127 291	365	0.29	9.49
14	12 187 714	109 444	0.91	p 127 440	p 149	p 0.12	p 9.56
15	12 289 519	101 805	0.84	...	...	...	...

注1) 都の総人口と全国の総人口は、時点が異なるため、全国の総人口は、参考とした。

注2) 全国の総人口は、各年10月1日現在における推計人口(単位:千人)である。

ただし、平成14年の数値は概算値であるため、pを付した。

注3) 構成比は、都の総人口が全国の総人口に占める割合をいう。時点の異なる数値で計算したため、参考とした。

資料) 全国の数値は、総務省「日本統計年鑑」、総務省「日本統計月報(平成15年1月)」による。

### 3 性別人口の動き

平成 15 年 1 月 1 日現在の人口 (12,289,519 人) を性別にみると、男が 6,132,876 人 (構成比 49.9%)、女が 6,156,643 人 (同 50.1%) となった。

昭和 56 年以降の推移をみると、男は、昭和 64 年の 599 万人まで増加した後、減少に転じ、平成 8 年には 589 万人になった。その後、平成 9 年から増加が続き、平成 14 年中の増加人口は 48,121 人で、前年より 2,631 人減少した。

一方、女は、昭和 62 年の 590 万人まで増加した後、ほぼ横ばい状態で推移したが、平成 9 年から再び増加傾向に転じた。平成 14 年中の増加人口は 53,684 人で、前年より 5,008 人減少した。

また、性比 (女 100 人に対する男の数) の推移をみると、昭和 64 年の 101.7 をピークに低下傾向にあり、平成 10 年に 100 を割った後も低下が続いており、平成 15 年には 99.6 となった。

(図 2、図 3、表 2)

図 2 性別人口の推移

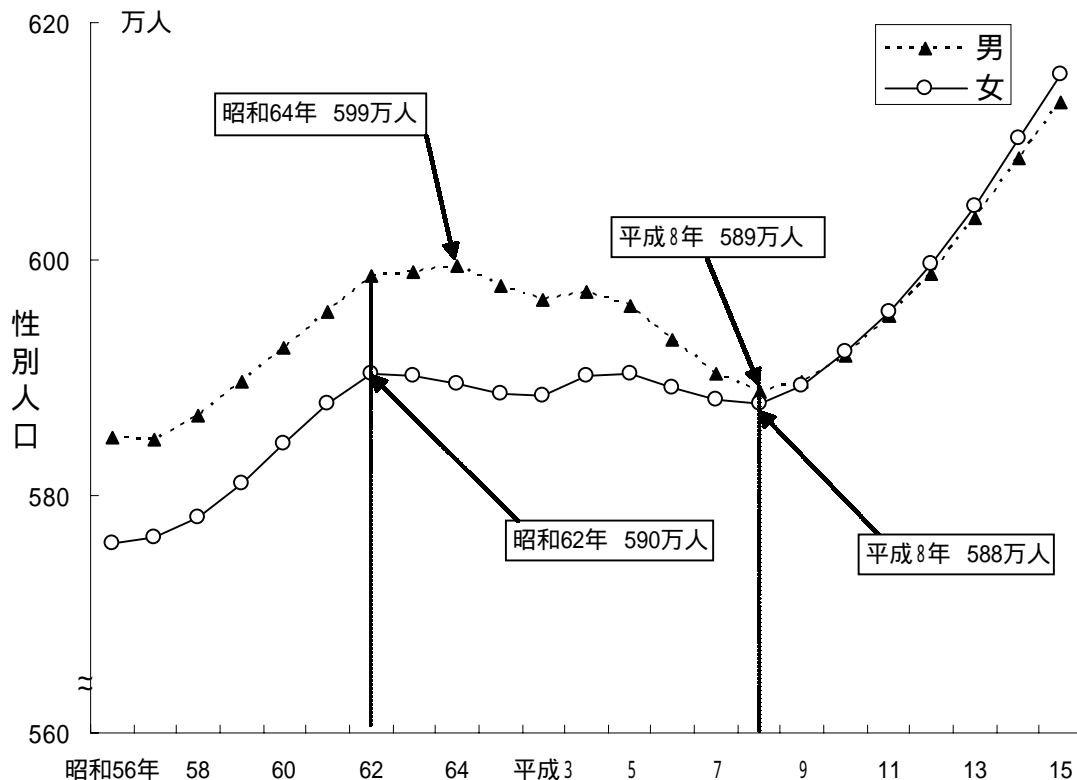


図3 性別増減人口と性比の推移

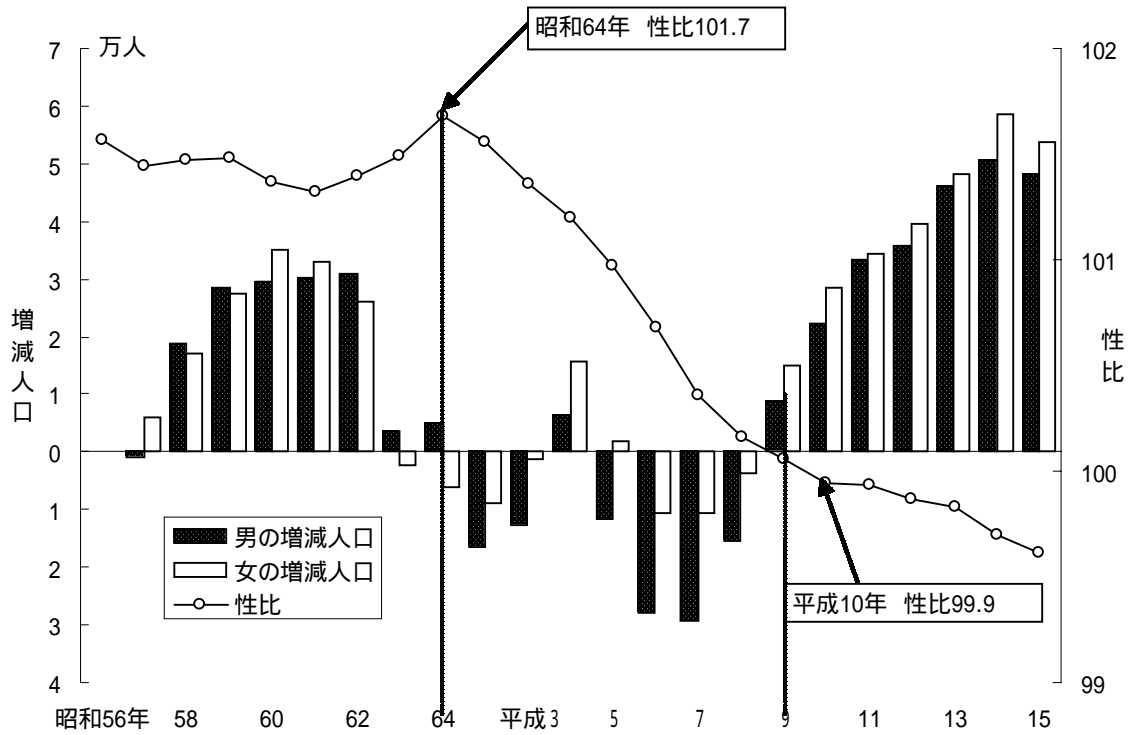


表2 性別人口、性比の推移(昭和56年～平成15年)

	男	増減人口	増減率	女	増減人口	増減率	性比(女=100)
昭和56年	5 849 345			5 759 402			101.6
57	5 848 425	920	0.02	5 765 413	6 011	0.10	101.4
58	5 867 346	18 921	0.32	5 782 416	17 003	0.29	101.5
59	5 895 906	28 560	0.49	5 809 977	27 561	0.48	101.5
60	5 925 374	29 468	0.50	5 845 191	35 214	0.61	101.4
61	5 955 539	30 165	0.51	5 878 100	32 909	0.56	101.3
62	5 986 422	30 883	0.52	5 904 161	26 061	0.44	101.4
63	5 989 949	3 527	0.06	5 901 926	2 235	0.04	101.5
64	5 994 798	4 849	0.08	5 895 753	6 173	0.10	101.7
平成2	5 978 361	16 437	0.27	5 886 910	8 843	0.15	101.6
3	5 965 552	12 809	0.21	5 885 527	1 383	0.02	101.4
4	5 971 800	6 248	0.10	5 901 111	15 584	0.26	101.2
5	5 960 222	11 578	0.19	5 903 028	1 917	0.03	101.0
6	5 932 434	27 788	0.47	5 892 350	10 678	0.18	100.7
7	5 903 261	29 173	0.49	5 881 915	10 435	0.18	100.4
8	5 887 839	15 422	0.26	5 878 336	3 579	0.06	100.2
9	5 896 752	8 913	0.15	5 893 355	15 019	0.26	100.1
10	5 918 923	22 171	0.38	5 922 014	28 659	0.49	99.9
11	5 952 254	33 331	0.56	5 956 410	34 396	0.58	99.9
12	5 987 932	35 678	0.60	5 996 039	39 629	0.67	99.9
13	6 034 003	46 071	0.77	6 044 267	48 228	0.80	99.8
14	6 084 755	50 752	0.84	6 102 959	58 692	0.97	99.7
15	6 132 876	48 121	0.79	6 156 643	53 684	0.88	99.6

#### 4 変動要因別増減人口の動き

平成 14 年中の増加人口( 101,805 人 )を主要な変動要因別にみると、社会増が 72,050 人、自然増が 15,279 人、外国人登録人口の増が 12,944 人となった。

昭和 31 年中以降の推移をみると、社会増減数は、昭和 32 年中をピークに概ね減少傾向にあったが、平成 9 年中から増加傾向に転じている。

自然増減数は、第 2 次ベビーブームの昭和 43 年中をピークに概ね減少傾向にあるものの、出生数は、近年、ほぼ横ばいの 10 万人前後で推移している。

外国人登録人口の増減数は、昭和 58 年中から増加幅が大きくなり、昭和 63 年中と平成 3 年中の激増の後、平成 6、7 年中と減少に転じたが、平成 8 年中から再び増加傾向が続いている。

平成 9 年中からは 6 年連続で、3 つの要因による増減人口がそろって増加しているが、中でも、社会増( 転入超過 )が東京都全体の人口増加に大きく寄与しており、平成 14 年中における増加人口の 70.77%を占めている。

( 図 4、表 3 )

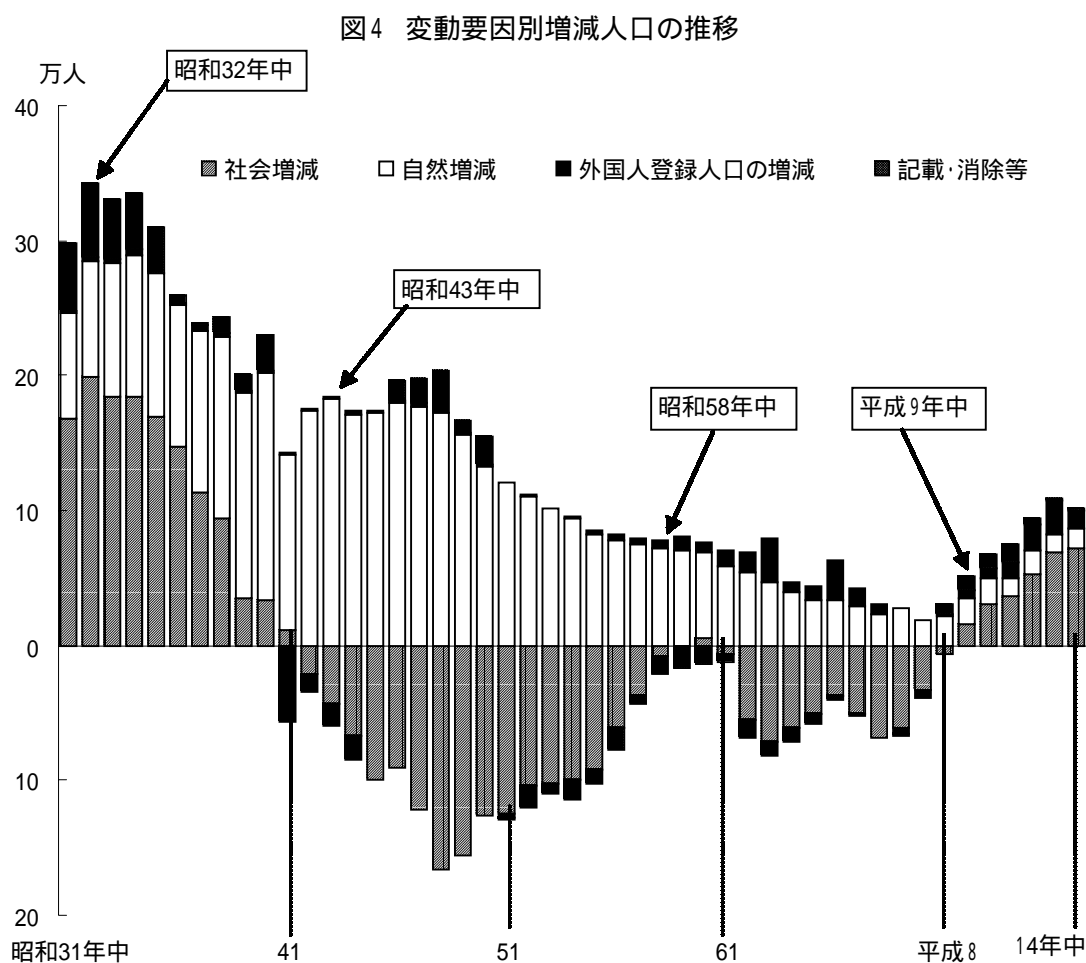


表3 変動要因別増減人口の推移(昭和31年中～平成14年中)

年次	総数	社会動態			自然動態			その他の増減	
		社会増減	転入	転出	自然増減	出生	死亡	外国人登録人口	記載・消除等
昭和31年中	297 477	167 882	546 543	378 661	78 381	116 172	37 791	1 807	49 407
32	342 883	198 726	586 610	387 884	85 753	127 012	41 259	3 439	54 965
33	330 224	183 505	584 337	400 832	99 894	139 956	40 062	3 054	43 771
34	334 547	184 074	607 219	423 145	105 255	142 970	37 715	4 816	40 402
35(1960)	309 400	169 533	628 000	458 467	105 733	144 520	38 787	45	34 179
36	259 057	146 975	640 883	493 908	105 734	140 478	34 744	724	5 624
37	239 488	113 357	670 924	557 567	120 069	157 304	37 235	3 809	2 253
38	242 922	94 163	687 226	593 063	134 892	170 263	35 371	2 048	11 819
39	200 159	34 880	689 503	654 623	151 670	191 250	39 580	2 847	10 762
40(1965)	230 743	33 121	703 747	670 626	168 659	210 689	42 030	1 779	27 184
41	85 830	11 335	700 172	688 837	129 695	175 933	46 238	1 237	56 437
42	140 916	20 648	682 510	703 158	174 204	217 150	42 946	1 752	14 392
43	124 724	43 930	696 221	740 151	182 131	228 963	46 832	2 296	15 773
44	88 206	67 456	680 411	747 867	171 645	222 569	50 924	1 696	17 679
45(1970)	73 730	100 142	668 483	768 625	172 514	226 724	54 210	1 421	63
46	105 158	91 200	668 594	759 794	179 770	233 149	53 379	1 900	14 688
47	76 407	121 081	649 026	770 107	177 437	230 495	53 058	2 187	17 864
48	37 105	166 029	627 156	793 185	171 922	226 143	54 221	358	31 570
49	11 039	155 839	565 001	720 840	156 256	210 386	54 130	1 058	9 564
50(1975)	29 151	125 956	541 685	667 641	132 400	186 591	54 191	918	21 789
51	8 043	125 229	529 407	654 636	120 673	175 103	54 430	1 882	1 605
52	7 823	104 261	528 011	632 272	110 480	164 516	54 036	1 773	15 815
53	7 978	102 280	513 497	615 777	101 873	157 407	55 534	171	7 400
54	19 196	99 738	510 541	610 279	93 595	148 994	55 399	1 661	14 714
55(1980)	18 612	92 482	490 980	583 462	82 583	140 077	57 494	1 926	10 639
56	5 091	61 105	488 051	549 156	78 301	136 660	58 359	3 522	15 627
57	35 924	37 463	491 394	528 857	75 459	133 459	58 000	3 692	5 764
58	56 121	8 358	495 198	503 556	71 554	131 827	60 273	6 383	13 458
59	64 682	145	486 139	485 994	70 148	131 004	60 856	10 744	16 355
60(1985)	63 074	4 851	485 208	480 357	64 078	125 995	61 917	7 328	13 183
61	56 944	6 129	486 672	492 801	58 953	121 811	62 858	10 817	6 697
62	1 292	55 491	474 706	530 197	54 910	118 390	63 480	14 341	12 468
63	1 324	71 570	455 801	527 371	47 500	113 094	65 594	32 401	9 655
平成元	25 280	61 055	454 815	515 870	39 123	106 614	67 491	7 390	10 738
平成2(1990)	14 192	50 441	453 116	503 557	33 963	104 237	70 274	9 605	7 319
3	21 832	36 917	447 461	484 378	33 048	103 736	70 688	29 526	3 825
4	9 661	51 186	434 519	485 705	28 581	101 440	72 859	13 408	464
5	38 466	68 433	424 367	492 800	23 698	98 973	75 275	6 283	14
6	39 608	60 951	420 050	481 001	27 070	102 469	75 399	4 530	1 197
7(1995)	19 001	33 692	430 369	464 061	18 743	98 061	79 318	4 628	576
8	23 932	6 963	431 545	438 508	21 205	98 384	77 179	1 539	8 151
9	50 830	16 184	435 693	419 509	19 352	98 638	79 286	4 840	10 454
10	67 727	30 704	440 098	409 394	18 872	99 620	80 748	6 868	11 283
11	75 307	36 624	436 805	400 181	12 958	98 746	85 788	12 670	13 055
12(2000)	94 299	53 245	444 118	390 873	16 602	101 089	84 487	19 506	4 946
13	109 444	68 457	449 888	381 431	14 255	99 109	84 854	25 123	1 609
14年中	101 805	72 050	442 925	370 875	15 279	100 414	85 135	12 944	1 532

(1) 社会動態

平成 14 年中の社会増は 72,050 人で、前年より 3,593 人の増加となった。

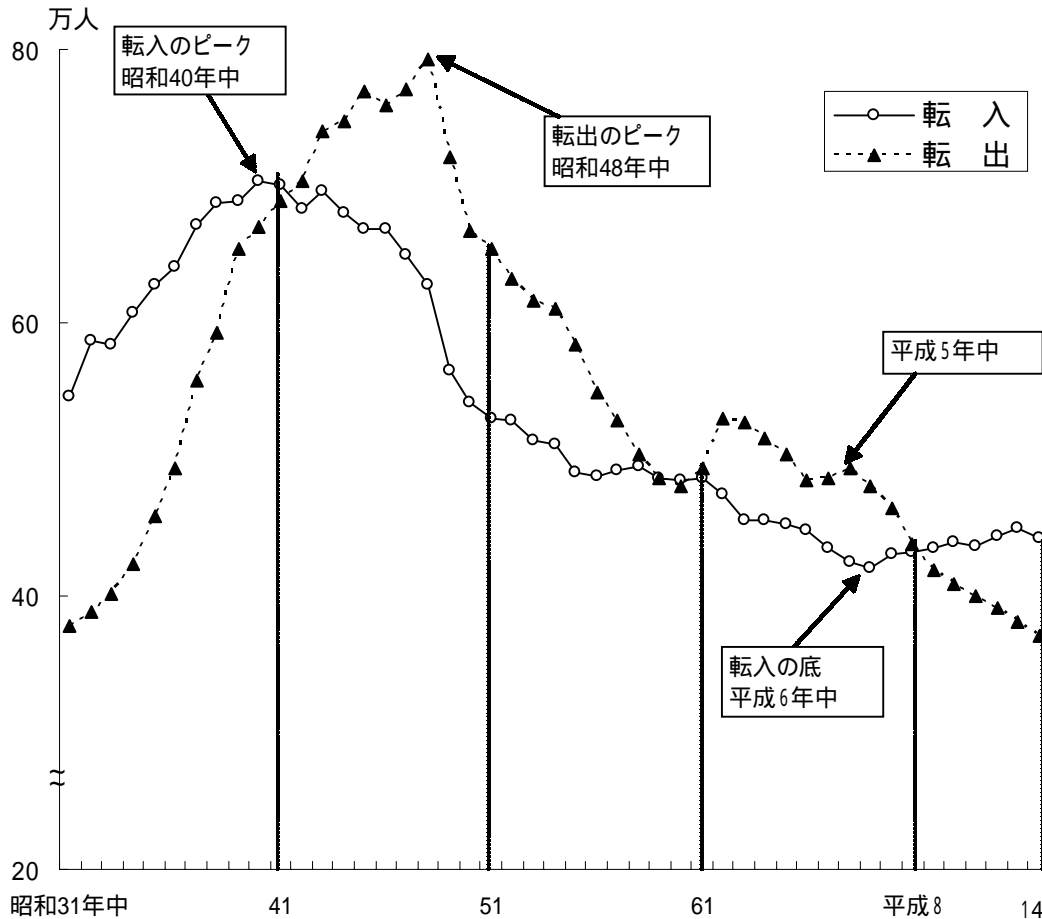
これを転入・転出別にみると、平成 14 年中における他県から都への転入数は 442,925 人、都から他県への転出数は 370,875 人となっている。

また、昭和 31 年中からの推移をみると、転入数は昭和 40 年中をピークに、転出数は昭和 48 年中をピークに、概ね減少傾向にある。

その後、平成 6 年中から転出数の減少傾向に弾みがついた一方で、平成 7 年中から転入数が微増傾向に転じている。このため、平成 9 年中に社会増に転じ、増加が伸び続けている。

(図 5、表 3)

図 5 社会動態における転入と転出の推移





(2) 自然動態

平成 14 年中の自然増は 15,279 人で、前年より 1,024 人増加した。

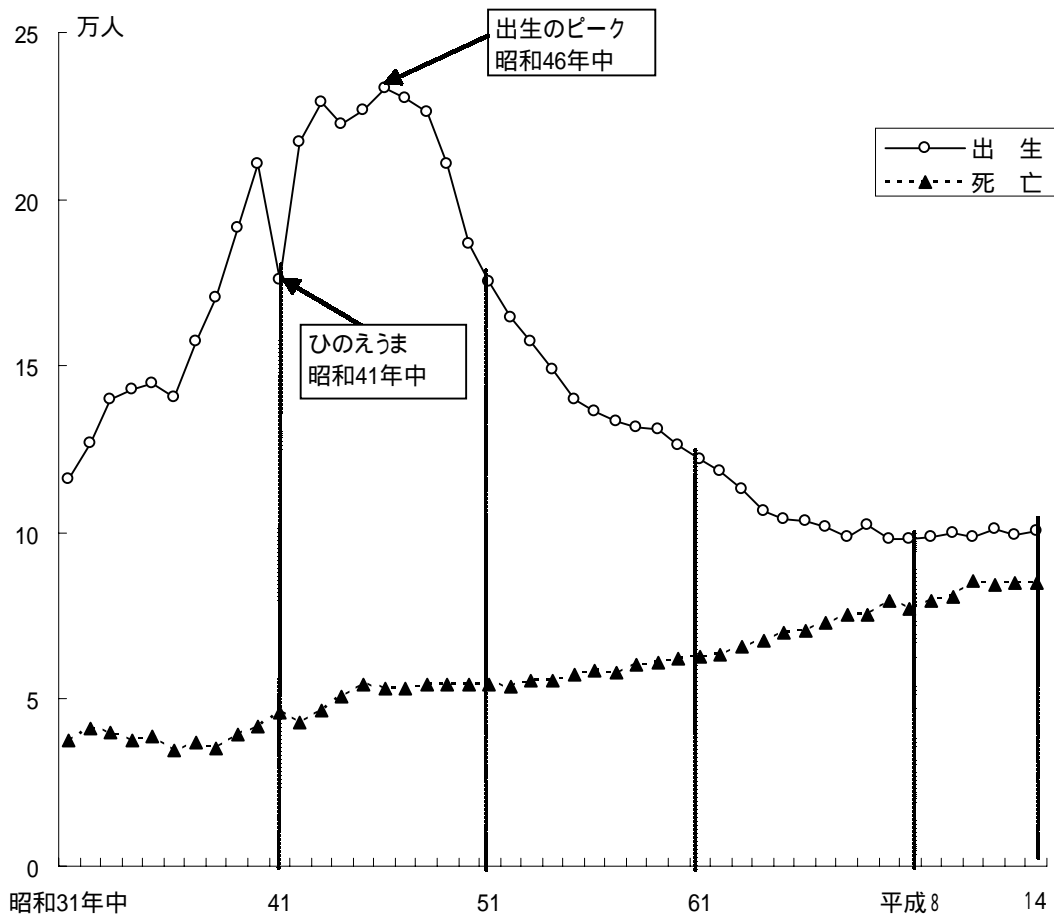
これを出生・死亡別にみると、平成 14 年中における出生数は 100,414 人、死亡数は 85,135 人であった。

また、昭和 31 年中からの推移をみると、出生数は、第 2 次ベビーブームの前後にあたる昭和 42 年中から昭和 48 年中をピークに概ね減少傾向にある。一方、死亡数は、逆に増加傾向にある。

近年、自然増減数の減少傾向にやや歯止めがかかっているが、これは、出生数と死亡数が共に、ほぼ横ばいで推移しているためである。

( 図 6、表 3 )

図 6 自然動態における出生と死亡の推移



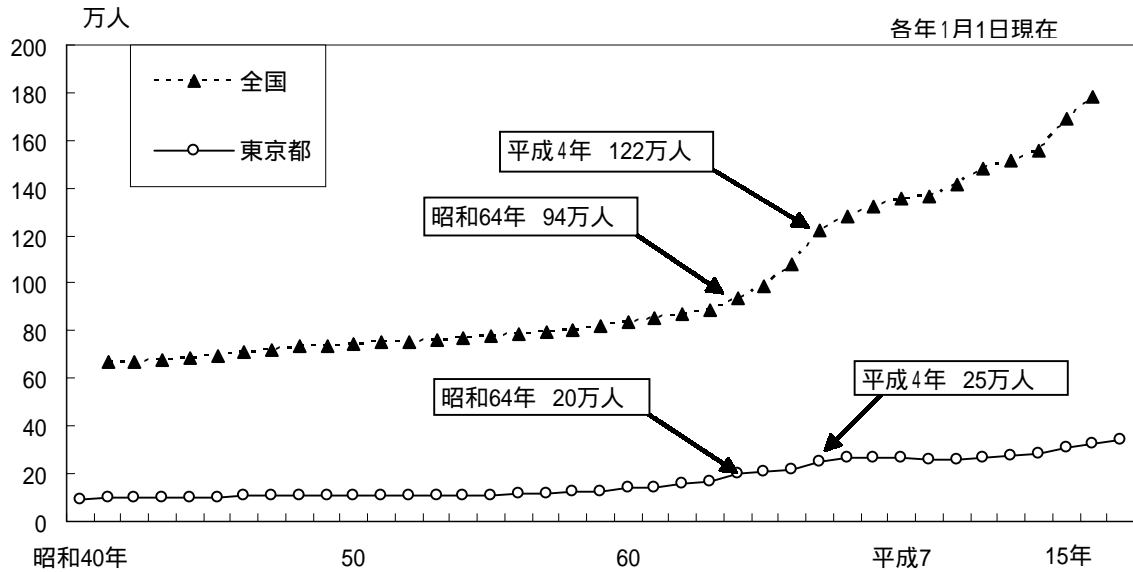
(3) 外国人登録人口の増減

平成 15 年 1 月 1 日現在の外国人登録人口は 344,221 人で、都の総人口の 2.80% を占め、約 36 人に 1 人が外国人ということになった。

平成 14 年中の増加人口は 12,944 人で、前年より 12,179 人減少したものの、平成 8 年中から 7 年連続で増加が続いている。

( 図 7、図 8、表 4 )

図7 外国人登録人口の推移(全国・東京都)



資料 全国の数値は、法務省「在留外国人統計」による。

図8 外国人登録人口増減の推移

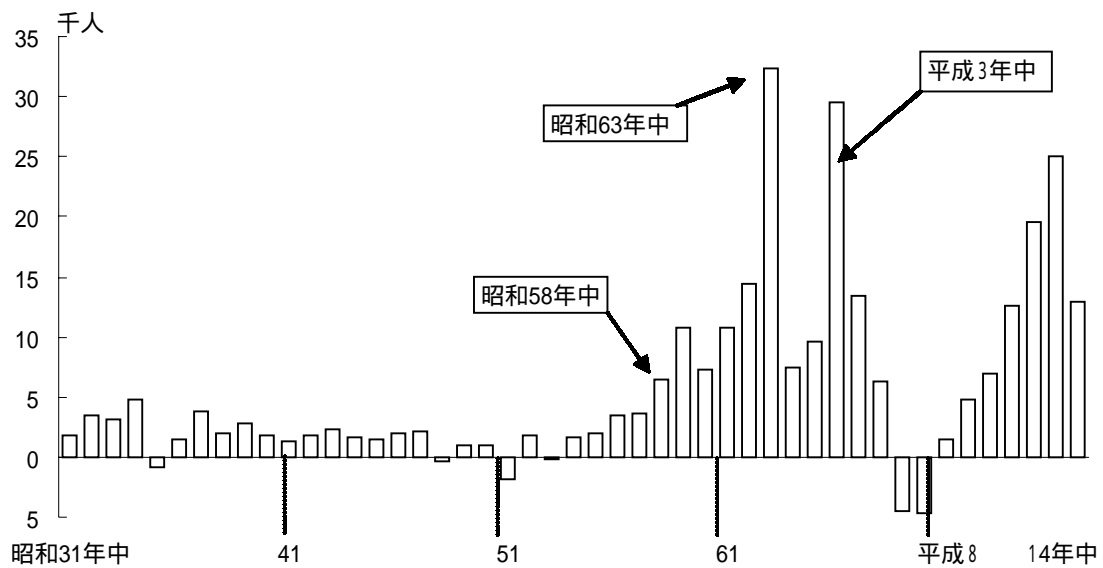


表4 外国人登録人口の推移(昭和31年～平成15年)

年次	人口	増減人口	増減率(%)	構成比(%)	各年1月1日現在	
					(参考)全国	増減率(%)
昭和31年(1956)	72 757	...	...	0.90	...	...
32	74 564	1 807	2.48	0.89	...	...
33	78 003	3 439	4.61	0.89	...	...
34	81 057	3 054	3.92	0.89	...	...
35(1960)	85 873	4 816	5.94	0.91	...	...
36	85 828	45	0.05	0.88	...	...
37	86 552	724	1.81	0.87	...	...
38	90 361	3 809	4.40	0.88	...	...
39	92 409	2 048	2.27	0.88	...	...
40(1965)	95 256	2 847	3.08	0.89	...	...
41	97 035	1 779	1.87	0.89	665 989	...
42	98 272	1 237	1.27	0.89	668 318	0.35
43	100 024	1 752	1.78	0.90	676 144	1.17
44	102 320	2 296	2.30	0.91	685 075	1.32
45(1970)	104 016	1 696	1.66	0.92	697 504	1.81
46	105 437	1 421	1.37	0.92	708 458	1.57
47	107 337	1 900	1.80	0.93	718 795	1.46
48	109 524	2 187	2.04	0.94	735 371	2.31
49	109 166	358	0.33	0.94	738 410	0.41
50(1975)	110 224	1 058	0.97	0.95	745 565	0.97
51	111 142	918	0.83	0.95	751 842	0.84
52	109 260	1 882	1.69	0.94	753 924	0.28
53	111 033	1 773	1.62	0.95	762 050	1.08
54	110 862	171	0.15	0.95	766 894	0.64
55(1980)	112 523	1 661	1.50	0.97	774 505	0.99
56	114 449	1 926	1.71	0.99	782 910	1.09
57	117 971	3 522	3.08	1.02	792 946	1.28
58	121 663	3 692	3.13	1.04	802 477	1.20
59	128 046	6 383	5.25	1.09	817 129	1.83
60(1985)	138 790	10 744	8.39	1.18	841 831	3.02
61	146 118	7 328	5.28	1.23	850 612	1.04
62	156 935	10 817	7.40	1.32	867 237	1.95
63	171 276	14 341	9.14	1.44	884 025	1.94
64	203 677	32 401	18.92	1.71	941 005	6.45
平成2(1990)	211 067	7 390	3.63	1.78	984 455	4.62
3	220 672	9 605	4.55	1.86	1 075 317	9.23
4	250 198	29 526	13.38	2.11	1 218 891	13.35
5	263 606	13 408	5.36	2.22	1 281 644	5.15
6	269 889	6 283	2.38	2.28	1 320 748	3.05
7(1995)	265 359	4 530	1.68	2.25	1 354 011	2.52
8	260 731	4 628	1.74	2.22	1 362 371	0.62
9	262 270	1 539	0.59	2.22	1 415 136	3.87
10	267 110	4 840	1.85	2.26	1 482 707	4.77
11	273 978	6 868	2.57	2.30	1 512 116	1.98
12(2000)	286 648	12 670	4.62	2.39	1 556 113	2.91
13	306 154	19 506	6.80	2.53	1 686 444	8.38
14	331 277	25 123	8.21	2.72	1 778 462	5.46
15	344 221	12 944	3.91	2.80	...	...

注1)構成比は、都の総人口に占める外国人登録人口の割合である。

2)全国の外国人登録人口は、法務省発表の数値である。

資料)全国の数値は、法務省「在留外国人統計」による。

国籍別にみると、最も多いのは中国の114,233人であり、次いで、韓国・朝鮮の103,241人、フィリピンの29,789人の順となった。

増加人口では、中国の9,293人、インドの582人、フィリピンの380人の順となった。

一方、増加率をみると、登録人口の多い上位10か国中では、インドの13.23%が最も高く、次いで中国の8.86%、オーストラリアの7.50%の順となった。

(表5)

表5 国籍別外国人登録人口及び増減数・率(平成13～15年)									
									各年1月1日現在
国 籍	外国人登録人口			増減数		増減率(%)		構成比(%)	
	13年	14年	15年	14年	15年	14年	15年	14年	15年
総 数	306 154	331 277	344 221	25 123	12 944	8.21	3.91	100.00	100.00
中 国	94 045	104 940	114 233	10 895	9 293	11.58	8.86	31.68	33.19
韓 国・朝 鮮	99 409	102 887	103 241	3 478	354	3.50	0.34	31.06	29.99
フ ィ リ ピ ン	25 970	29 409	29 789	3 439	380	13.24	1.29	8.88	8.65
米 国	17 715	18 448	18 469	733	21	4.14	0.11	5.57	5.37
英 国	7 511	7 911	8 013	400	102	5.33	1.29	2.39	2.33
タ イ	4 815	5 365	5 616	550	251	11.42	4.68	1.62	1.63
イ ン ド	3 555	4 398	4 980	843	582	23.71	13.23	1.33	1.45
ブ ラ ジ ル	4 823	5 081	4 978	258	103	5.35	2.03	1.53	1.45
マ レ イ シ ア	3 429	4 236	4 246	807	10	23.53	0.24	1.28	1.23
オ ー ス ト ラ リ ア	3 344	3 829	4 116	485	287	14.50	7.50	1.16	1.20
そ の 他	41 538	44 773	46 540	3 235	1 767	7.79	3.95	13.52	13.52

注)構成比は、外国人登録人口総数に占める国籍別外国人登録人口の割合である。

区市町村別にみると、新宿区の28,116人が最も多く、次いで足立区の20,875人、江戸川区の18,438人の順となった。

一方、各区市町村の総人口に占める外国人の割合は、港区が、前年より低下したものの、9.94%と最も多く、区民の約10人に1人が外国人ということに変わりがない。次いで、新宿区の9.54%、豊島区の6.49%の順となった。

(表6)

表6 外国人登録人口の上位10区市町村(平成13～15年)							
							各年1月1日現在
区 市 町 村	外国人登録人口			増減率(%)		総人口に占める割合(%)	
	13年	14年	15年	14年	15年	14年	15年
新 宿 区	24 149	26 582	28 116	10.07	5.77	9.15	9.54
足 立 区	18 793	20 372	20 875	8.40	2.47	3.29	3.36
江 戸 川 区	15 952	17 554	18 438	10.04	5.04	2.79	2.90
港 区	15 701	16 561	16 494	5.48	0.40	10.07	9.94
豊 島 区	14 781	15 820	16 364	7.03	3.44	6.31	6.49
大 田 区	14 195	15 191	15 534	7.02	2.26	2.32	2.36
世 田 谷 区	14 125	15 117	15 427	7.02	2.05	1.84	1.87
板 橋 区	12 936	13 971	14 748	8.00	5.56	2.69	2.82
北 区	11 293	12 154	12 931	7.62	6.39	3.73	3.96
江 東 区	10 265	12 232	12 928	19.16	5.69	3.17	3.28

注1)平成15年1月1日現在で外国人登録人口の多い10区市町村とした。  
2)人口に占める割合は、各区市町村の人口に占める外国人登録人口の割合である。

## 5 地域別人口の動き

平成 15 年 1 月 1 日現在の人口（12,289,519 人）を地域別にみると、区部が 8,289,001 人（構成比 67.45%）、市郡部が 3,973,721 人（同 32.33%）、島部が 27,174 人（同 0.22%）となった。

昭和 31 年中からの増減を地域別にみると、区部は、昭和 32 年中をピークに増加幅が縮小し、増減を繰り返したが、平成 8 年中に増加に転じ、7 年連続で増加が続いている。平成 14 年中の増加人口は 69,379 人で、前年より 7,072 人減少した。

市郡部は、昭和 40 年中をピークに、増加幅の縮小が続いたが、近年、3 万人台の増加が続いている。平成 14 年中の増加人口は 32,746 人で、前年より 706 人減少した。

島部は、多少変動はあるものの、概ね減少が続いている。平成 14 年中の減少人口は 153 人であった。

(注)平成 12 年国勢調査において三宅村の人口がゼロとなったため、その後の増減数は三宅村には加えず、総数にのみ加えた。このため、総数と各地域の合計は一致しない。

(図 9、表 7)

図 9 地域別増減人口の推移

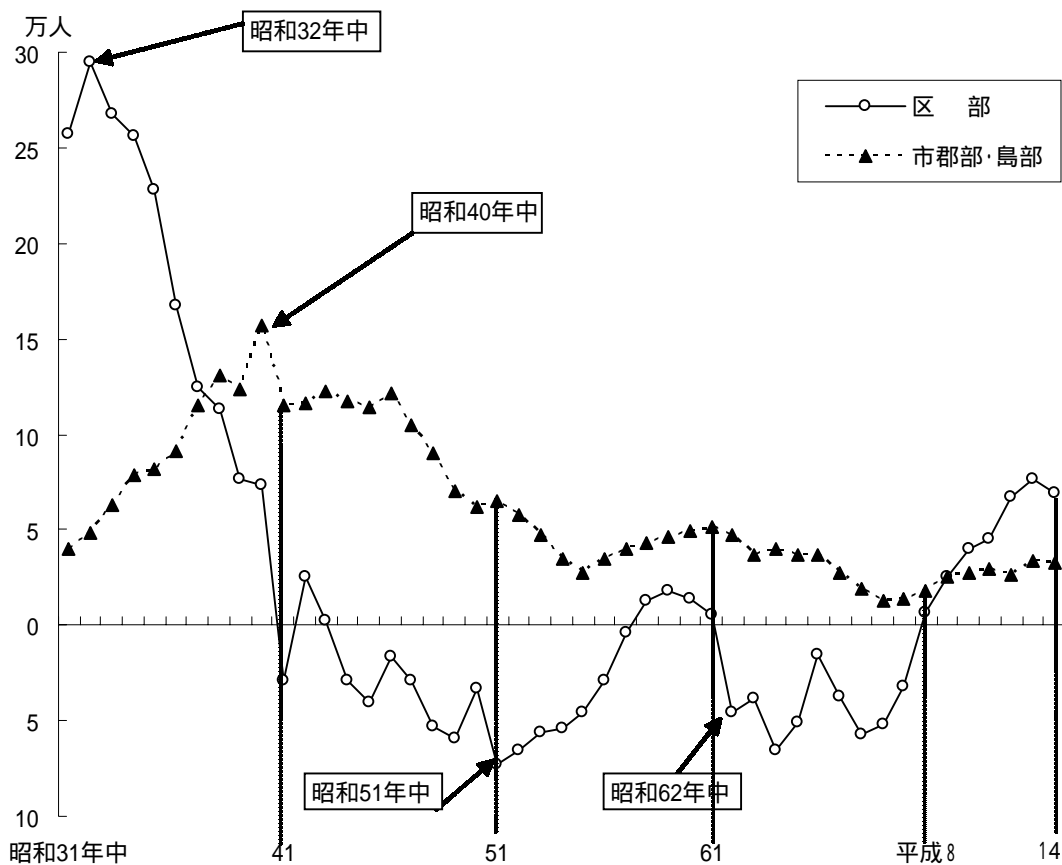


表7 地域別人口の推移(昭和31年～平成15年)												
												各年1月1日現在
年次	人 口				増 減 数				増 減 率 (%)			
	総 数	区 部	市 郡 部	島 部	総 数	区 部	市 郡 部	島 部	総 数	区 部	市 郡 部	島 部
昭和31年	8 111 233	7 034 126	1 036 430	40 677	...	...	...	...	...	...	...	...
32	8 408 710	7 291 283	1 077 165	40 262	297 477	257 157	40 735	415	3.67	3.66	3.93	1.02
33	8 751 593	7 586 292	1 125 242	40 059	342 883	295 009	48 077	203	4.08	4.05	4.46	0.50
34	9 081 817	7 853 898	1 188 179	39 740	330 224	267 606	62 937	319	3.77	3.53	5.59	0.80
35	9 416 364	8 109 588	1 267 479	39 297	334 547	255 690	79 300	443	3.68	3.26	6.67	1.11
36	9 725 764	8 337 061	1 349 975	38 728	309 400	227 473	82 496	569	3.29	2.80	6.51	1.45
37	9 984 821	8 504 930	1 441 802	38 089	259 057	167 869	91 827	639	2.66	2.01	6.80	1.65
38	10 224 309	8 629 119	1 557 638	37 552	239 488	124 189	115 836	537	2.40	1.46	8.03	1.41
39	10 467 231	8 741 698	1 688 617	36 916	242 922	112 579	130 979	636	2.38	1.30	8.41	1.69
40	10 667 390	8 818 244	1 812 836	36 310	200 159	76 546	124 219	606	1.91	0.88	7.36	1.64
41	10 898 133	8 891 608	1 970 939	35 586	230 743	73 364	158 103	724	2.16	0.83	8.72	1.99
42	10 983 963	8 862 523	2 086 604	34 836	85 830	29 085	115 665	750	0.79	0.33	5.87	2.11
43	11 124 879	8 887 715	2 202 947	34 217	140 916	25 192	116 343	619	1.28	0.28	5.58	1.78
44	11 249 603	8 889 974	2 325 709	33 920	124 724	2 259	122 762	297	1.12	0.03	5.57	0.87
45	11 337 809	8 860 716	2 443 706	33 387	88 206	29 258	117 997	533	0.78	0.33	5.07	1.57
46	11 411 539	8 820 711	2 557 621	33 207	73 730	40 005	113 915	180	0.65	0.45	4.66	0.54
47	11 516 697	8 804 252	2 679 032	33 413	105 158	16 459	121 411	206	0.92	0.19	4.75	0.62
48	11 593 104	8 775 555	2 783 620	33 929	76 407	28 697	104 588	516	0.66	0.33	3.90	1.54
49	11 630 209	8 722 832	2 873 199	34 178	37 105	52 723	89 579	249	0.32	0.60	3.22	0.73
50	11 641 248	8 663 944	2 943 083	34 221	11 039	58 888	69 884	43	0.09	0.68	2.43	0.13
51	11 670 399	8 630 752	3 005 648	33 999	29 151	33 192	62 565	222	0.25	0.38	2.13	0.65
52	11 662 356	8 558 004	3 070 492	33 860	8 043	72 748	64 844	139	0.07	0.84	2.16	0.41
53	11 654 533	8 492 206	3 128 434	33 893	7 823	65 798	57 942	33	0.07	0.77	1.89	0.10
54	11 646 555	8 436 555	3 176 131	33 869	7 978	55 651	47 697	24	0.07	0.66	1.52	0.07
55	11 627 359	8 383 008	3 210 479	33 872	19 196	53 547	34 348	3	0.16	0.63	1.08	0.01
56	11 608 747	8 336 797	3 238 214	33 736	18 612	46 211	27 735	136	0.16	0.55	0.86	0.40
57	11 613 838	8 307 425	3 272 744	33 669	5 091	29 372	34 530	67	0.04	0.35	1.07	0.20
58	11 649 762	8 303 726	3 312 311	33 725	35 924	3 699	39 567	56	0.31	0.04	1.21	0.17
59	11 705 883	8 316 417	3 355 841	33 625	56 121	12 691	43 530	100	0.48	0.15	1.31	0.30
60	11 770 565	8 334 869	3 402 060	33 636	64 682	18 452	46 219	11	0.55	0.22	1.38	0.03
61	11 833 639	8 348 820	3 451 261	33 558	63 074	13 951	49 201	78	0.54	0.17	1.45	0.23
62	11 890 583	8 354 190	3 503 025	33 368	56 944	5 370	51 764	190	0.48	0.06	1.50	0.57
63	11 891 875	8 308 222	3 550 596	33 057	1 292	45 968	47 571	311	0.01	0.55	1.36	0.93
64	11 890 551	8 269 686	3 588 063	32 802	1 324	38 536	37 467	255	0.01	0.46	1.06	0.77
平成2	11 865 271	8 204 010	3 628 596	32 665	25 280	65 676	40 533	137	0.21	0.79	1.13	0.42
3	11 851 079	8 153 030	3 665 692	32 357	14 192	50 980	37 096	308	0.12	0.62	1.02	0.94
4	11 872 911	8 137 548	3 703 289	32 074	21 832	15 482	37 597	283	0.18	0.19	1.03	0.87
5	11 863 250	8 100 016	3 731 378	31 856	9 661	37 532	28 089	218	0.08	0.46	0.76	0.68
6	11 824 784	8 042 920	3 749 927	31 937	38 466	57 096	18 549	81	0.32	0.70	0.50	0.25
7	11 785 176	7 990 789	3 762 425	31 962	39 608	52 131	12 498	25	0.33	0.65	0.33	0.08
8	11 766 175	7 958 234	3 775 888	32 053	19 001	32 555	13 463	91	0.16	0.41	0.36	0.28
9	11 790 107	7 964 404	3 793 836	31 867	23 932	6 170	17 948	186	0.20	0.08	0.48	0.58
10	11 840 937	7 990 000	3 819 303	31 634	50 830	25 596	25 467	233	0.43	0.32	0.67	0.73
11	11 908 664	8 030 320	3 846 794	31 550	67 727	40 320	27 491	84	0.57	0.50	0.72	0.27
12	11 983 971	8 075 722	3 876 840	31 409	75 307	45 402	30 046	141	0.63	0.57	0.78	0.45
13	12 078 270	8 143 171	3 907 523	27 594	94 299	67 449	30 683	3815	0.79	0.84	0.79	12.15
14	12 187 714	8 219 622	3 940 975	27 327	109 444	76 451	33 452	267	0.91	0.94	0.86	0.97
15	12 289 519	8 289 001	3 973 721	27 174	101 805	69 379	32 746	153	0.84	0.84	0.83	0.56

注)三宅村の人口は平成12年国勢調査によりゼロとなったため、その後の増減数は三宅村には加えず、総数にのみ加えた。このため、平成13年と平成14年においては、総数と各地域の合計は一致しない。

( 1 ) 区部の変動要因別増減人口の推移

( ア ) 区部全体

平成 14 年中の増加人口( 69,379 人 )を主要な変動要因別にみると、社会増が 50,612 人、自然増が 5,911 人、外国人登録人口の増が 10,622 人となった。

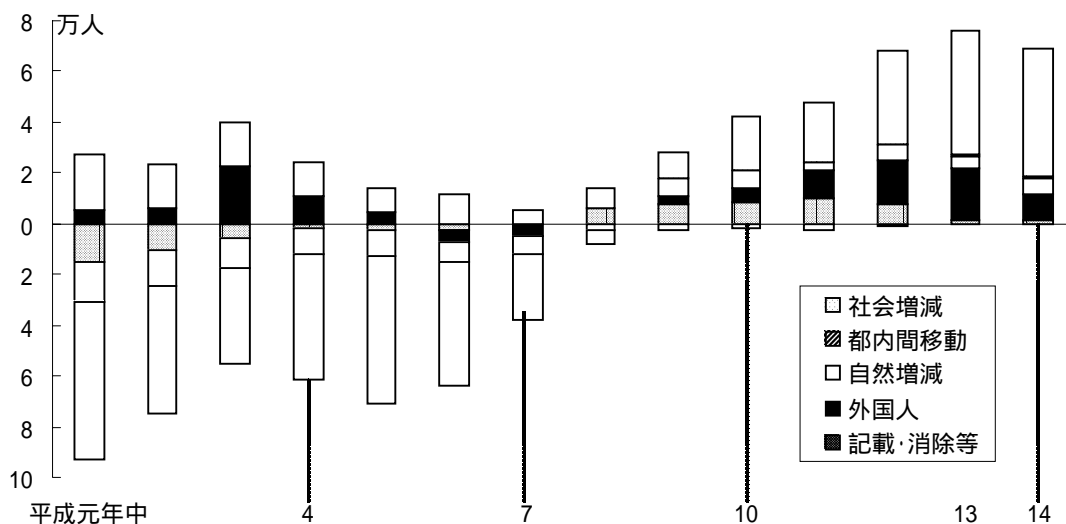
また、平成元年中からの増減の推移をみると、社会増減数は、平成 9 年中に社会増に転じ、年々、増加数が伸び続けている。

自然増減数は、概ね、増加幅の縮小傾向にあるが、近年、伸縮を繰り返している。出生数は 6 万 5 千人前後とほぼ横ばいで推移している。

外国人登録人口の増は、平成 14 年中に 10,622 人で、前年より 10,229 人減少した。

( 図 10、表 8 )

図10 区部における変動要因別増減人口の推移



年次	総数	社会増減			都内間の移動増減			自然増減		その他の増減		
		増減	転入	転出	増減	転入	転出	増減	出生	死亡	外国人	記載・消除等
平成元年中	65 676	62 019	322 833	384 852	15 596	264 000	279 596	21 475	71 198	49 723	5 485	15 021
2	50 980	49 650	321 058	370 708	14 286	257 915	272 201	17 302	69 056	51 754	6 286	10 632
3	15 482	37 501	316 448	353 949	12 005	248 396	260 401	16 658	68 495	51 837	22 943	5 577
4	37 532	49 606	302 951	352 557	10 011	237 812	247 823	13 227	66 381	53 154	10 811	1 953
5	57 096	58 154	296 182	354 336	10 580	249 082	259 662	9 454	64 504	55 050	4 380	2 196
6	52 131	48 890	294 753	343 643	7 518	257 926	265 444	11 672	66 408	54 736	4 626	2 769
7	32 555	26 523	303 931	330 454	6 950	269 507	276 457	5 704	63 391	57 687	4 615	171
8	6 170	5 311	305 851	311 162	2 803	270 427	273 230	8 110	63 783	55 673	170	6 004
9	25 596	10 475	308 197	297 722	2 777	262 484	265 261	6 994	63 976	56 982	3 566	7 338
10	40 320	21 134	312 887	291 753	2 050	259 243	261 293	6 989	64 557	57 568	5 785	8 462
11	45 402	23 403	309 729	286 326	2 233	263 741	265 974	3 371	64 273	60 902	10 586	10 275
12	67 449	37 366	316 691	279 325	886	273 054	273 940	6 335	65 965	59 630	16 863	7 771
13	76 451	49 045	321 652	272 607	605	268 309	267 704	4 753	64 811	60 058	20 851	1 197
14年中	69 379	50 612	315 730	265 118	952	263 736	262 784	5 911	65 940	60 029	10 622	1 282

(イ) 都心3区

都心3区(千代田区、中央区、港区)の人口を昭和31年からの推移で見ると、一貫して減少が続いていたが、平成9年に増加に転じ、平成15年1月1日現在で283,329人になった。

平成14年中の増加人口は5,111人で、前年より3,559人減少した。

主要な変動要因別に見ると、社会増が3,929人、自然減が15人、外国人登録人口の増が297人となった。

平成元年中からの増減の推移をみると、社会増減数は、平成8年中に社会増に転じ、増加が続いている。

自然増減数は、自然減が続いているものの、減少幅が概ね縮小傾向にある。出生数は、2千人前後とほぼ横ばいで推移している。

外国人登録人口の増は、平成14年中に297人で、前年より1,042人減少した。

(図11、図12、表9、表10)

表9 都心3区の人口の推移(昭和31年～平成15年)									
					各年1月1日現在				
年次	都心3区	千代田区	中央区	港区	年次	都心3区	千代田区	中央区	港区
昭和31年	549 216	122 845	170 824	255 547	昭和55年	339 076	55 705	83 008	200 363
32	549 034	122 061	168 803	258 170	56	338 581	54 828	82 694	201 059
33	548 872	120 539	167 435	260 898	57	336 353	53 900	81 716	200 737
34	548 610	119 802	166 114	262 694	58	336 077	53 764	81 256	201 057
35	547 388	119 045	163 625	264 718	59	332 611	52 836	80 883	198 892
36	542 201	116 991	159 779	265 431	60	330 719	52 390	80 546	197 783
37	534 583	114 020	156 891	263 672	61	323 396	50 355	79 287	193 754
38	524 439	111 751	152 136	260 552	62	313 540	48 072	77 340	188 128
39	511 781	108 673	148 288	254 820	63	299 496	45 316	74 908	179 272
40	495 994	103 008	143 463	249 523	64	286 003	43 066	72 240	170 697
41	459 470	92 515	126 793	240 162	平成2年	274 837	41 060	69 976	163 801
42	445 421	88 538	122 505	234 378	3	264 013	39 420	67 729	156 864
43	435 962	86 893	118 062	231 007	4	258 107	38 129	67 230	152 748
44	422 386	82 863	112 367	227 156	5	251 421	36 933	66 068	148 420
45	411 534	78 136	107 608	225 790	6	246 735	35 481	65 052	146 202
46	397 821	73 248	102 130	222 443	7	244 389	34 967	64 371	145 051
47	393 081	72 227	98 900	221 954	8	242 994	34 595	63 964	144 435
48	386 171	69 269	96 180	220 722	9	247 648	34 944	64 150	148 554
49	374 491	64 527	92 954	217 010	10	249 403	34 970	64 805	149 628
50	365 635	62 716	91 155	211 764	11	254 291	35 068	66 541	152 682
51	360 398	62 122	89 429	208 847	12	259 627	35 339	69 695	154 593
52	351 677	59 795	87 846	204 036	13	269 548	35 873	73 446	160 229
53	345 587	58 341	86 078	201 168	14	278 218	36 384	77 300	164 534
54	341 316	56 570	84 650	200 096	15	283 329	36 560	80 822	165 947



図11 都心3区(千代田区・中央区・港区)の人口の推移

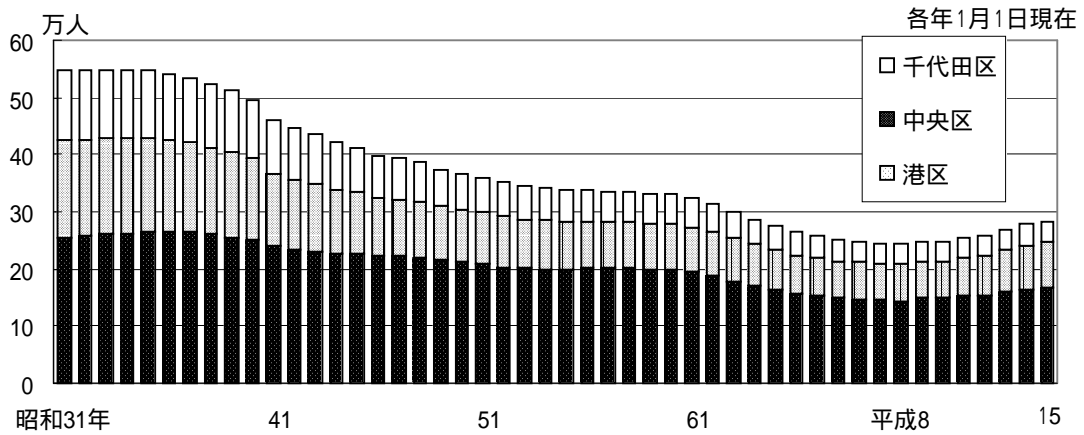


図12 都心3区における変動要因別増減人口の推移

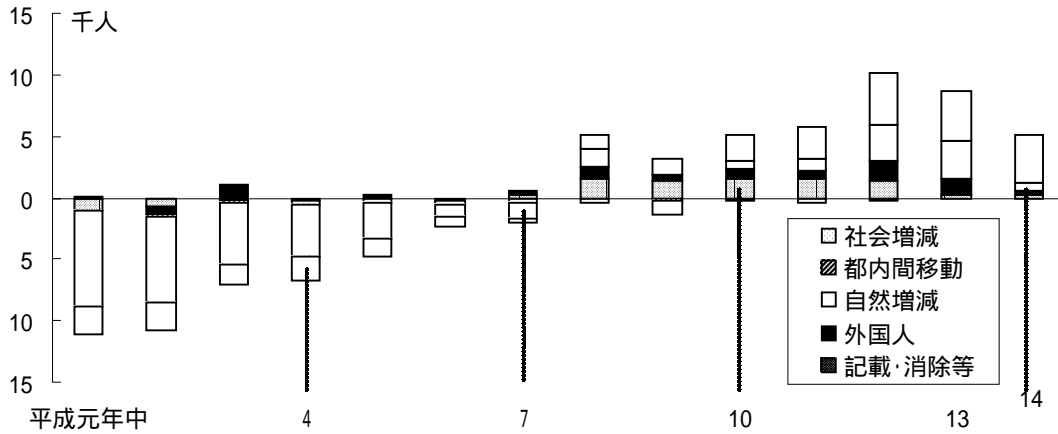


表10 都心3区の変動要因別増減人口の推移(平成元~14年中)

年次	総数	社会増減			都内間の移動増減			自然増減			その他の増減	
		増減	転入	転出	増減	転入	転出	増減	出生	死亡	外国人	記載・消除等
平成元年中	11 166	2 314	13 322	15 636	7 804	11 420	19 224	48	2 130	2 178	6	1 006
2	10 824	2 230	12 459	14 689	6 981	11 304	18 285	224	1 895	2 119	581	808
3	5 906	1 499	11 818	13 317	5 172	11 264	16 436	149	1 926	2 075	1 098	184
4	6 686	1 877	10 988	12 865	4 172	10 184	14 356	368	1 768	2 136	120	149
5	4 686	1 566	10 718	12 284	2 828	11 813	14 641	456	1 638	2 094	164	0
6	2 346	768	10 857	11 625	974	12 517	13 491	305	1 796	2 101	228	71
7	1 395	209	11 145	11 354	1 265	13 167	14 432	480	1 727	2 207	375	184
8	4 654	1 161	11 718	10 557	1 329	15 574	14 245	408	1 725	2 133	964	1 608
9	1 755	1 408	11 826	10 418	1 127	13 374	14 501	322	1 790	2 112	359	1 437
10	4 888	2 092	12 669	10 577	639	15 073	14 434	196	1 903	2 099	880	1 473
11	5 336	2 580	12 973	10 393	878	16 218	15 340	376	1 916	2 292	643	1 611
12	9 921	4 154	14 311	10 157	2 875	18 295	15 420	167	2 056	2 223	1 672	1 387
13	8 670	4 158	14 380	10 222	2 963	17 881	14 918	45	2 212	2 257	1 339	255
14年中	5 111	3 929	14 111	10 182	576	16 336	15 760	15	2 235	2 250	297	324

( 2 ) 市郡部の変動要因別増減人口の推移

平成 14 年中の増加人口( 32,746 人 )を主要な変動要因別にみると、社会増が 21,407 人、自然増が 9,517 人、外国人登録人口の増が 2,322 人となった。

また、平成元年中からの増減の推移をみると、社会増減数は、平成 9 年中に社会増に転じ、年々、伸び続けている。

自然増減数は、自然増が続いているものの、増加幅が概ね縮小傾向にある。出生数は、3 万 4 千人前後とほぼ横ばいで推移している。

外国人登録人口の増は、平成 14 年中に 2,322 人で、前年より 1,937 人減少した。

( 図 13、表 11 )

図13 市郡部における変動要因別増減人口の推移

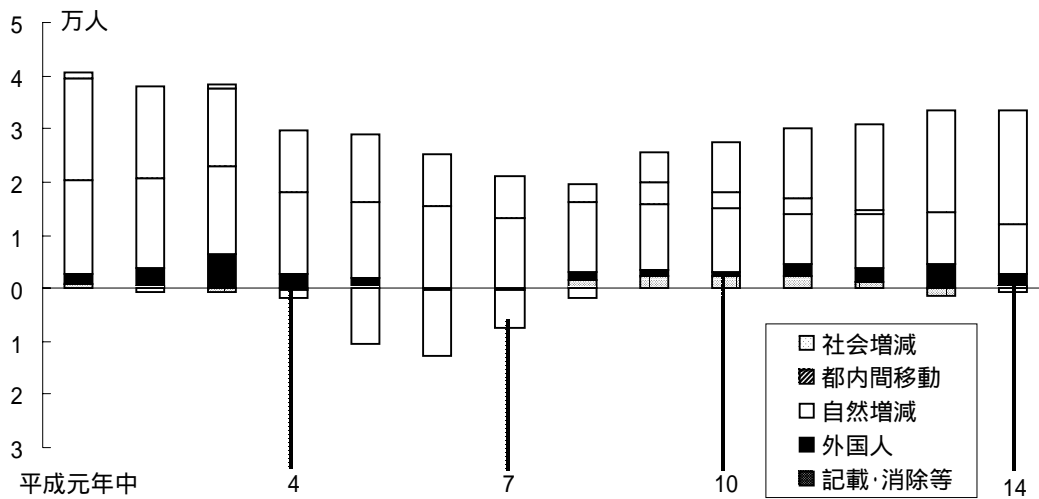


表11 市郡部における変動要因別増減人口の推移(平成元～14年中)

年次	総数	社会増減			都内間の移動増減			自然増減			その他の増減	
		増減	転入	転出	増減	転入	転出	増減	出生	死亡	外国人	記載・消除等
平成元年中	40 533	905	130 963	130 058	19 469	138 638	119 169	17 634	35 110	17 476	1 906	619
2	37 096	712	131 148	131 860	17 258	135 394	118 136	16 694	34 898	18 204	3 293	563
3	37 597	717	130 211	129 494	14 533	128 831	114 298	16 464	34 950	18 486	6 567	684
4	28 089	1 549	130 712	132 261	11 802	131 088	119 286	15 436	34 788	19 352	2 591	191
5	18 549	10 333	127 224	137 557	12 499	138 418	125 919	14 326	34 174	19 848	1 863	194
6	12 498	12 210	124 198	136 408	9 535	143 094	133 559	15 480	35 796	20 316	77	384
7	13 463	7 278	125 403	132 681	7 929	149 109	141 180	13 126	34 409	21 283	19	295
8	17 948	1 721	124 682	126 403	3 394	143 118	139 724	13 204	34 337	21 133	1 382	1 689
9	25 467	5 646	126 439	120 793	3 901	138 919	135 018	12 430	34 408	21 978	1 271	2 219
10	27 491	9 459	126 182	116 723	2 874	135 284	132 410	11 980	34 812	22 832	1 056	2 122
11	30 046	13 245	126 110	112 865	2 685	137 038	134 353	9 642	34 201	24 559	2 083	2 391
12	30 683	15 936	126 518	110 582	624	133 326	132 702	10 364	34 864	24 500	2 632	1 127
13	33 452	19 533	127 428	107 895	400	130 342	129 942	9 638	34 071	24 433	4 259	378
14年中	32 746	21 407	126 314	104 907	798	126 922	127 720	9 517	34 232	24 715	2 322	298

(3) 島部の変動要因別増減人口の推移

平成14年中に島部の人口は153人減少したが、これを主要な変動要因別にみると、社会増が79人、自然減が119人、外国人登録人口の減が2人となった。

平成元年中からの増減の推移をみると、社会増減数は、4年ぶりに増加に転じた。

自然増減数は、平成2年中に自然減に転じ、その後、一貫して減少している。出生数は、概ね縮小傾向にある。

(図14、表12)

図14 島部における変動要因別増減人口の推移

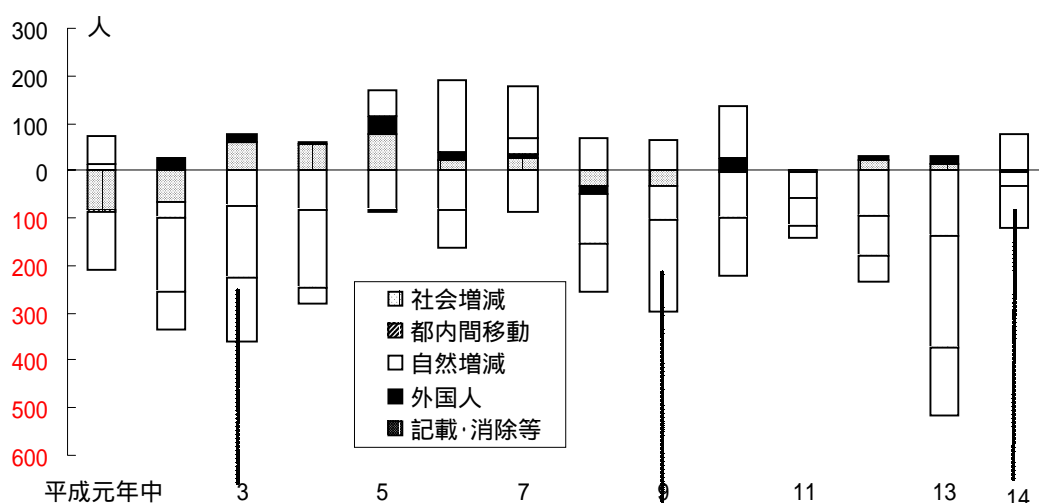


表12 島部における変動要因別増減人口の推移(平成元～14年中)

年次	総数	社会増減			都内間の移動増減			自然増減			その他の増減	
		増減	転入	転出	増減	転入	転出	増減	出生	死亡	外国人	記載・消除等
平成元年中	137	59	1 019	960	125	1 116	1 241	14	306	292	1	84
2	308	79	910	989	157	1 026	1 183	33	283	316	26	65
3	283	133	802	935	152	1 074	1 226	74	291	365	16	60
4	218	31	856	887	166	1 091	1 257	82	271	353	6	55
5	81	54	961	907	7	1 114	1 121	82	295	377	40	76
6	25	149	1 099	950	82	1 131	1 213	82	265	347	19	21
7	91	109	1 035	926	36	1 203	1 167	87	261	348	6	27
8	186	69	1 012	943	99	1 078	1 177	109	264	373	13	34
9	233	63	1 057	994	196	1 022	1 218	72	254	326	3	31
10	84	111	1 029	918	122	1 076	1 198	97	251	348	27	3
11	141	24	966	990	62	1 111	1 173	55	272	327	1	1
12	203	57	909	966	81	990	1 071	97	260	357	11	21
13	267	121	808	929	230	893	1 123	136	227	363	13	207
14年中	153	79	875	796	87	799	886	119	228	347	2	24

注)平成12年中に三宅村の全住民避難があったので、平成12年中以後、三宅村の動きは含まない。

## 6 区市町村別人口の動き

### (1) 人口の多い・少ない区市町村

平成15年1月1日現在において、人口の最も多い区市町村は、世田谷区の826,875人であり、次いで、練馬区の672,045人、大田区の658,261人の順となった。

なお、最も多い市町村は、八王子市の544,812人である。

一方、最も小さい区市町村は、青ヶ島村の201人である。

(表13)

表13-1 人口の多い上位5区名(平成13～15年)

順位	各年1月1日現在					
	平成13年		平成14年		平成15年	
	区	人口	区	人口	区	人口
1	世田谷区	814 769	世田谷区	820 632	世田谷区	826 875
2	練馬区	659 516	練馬区	665 975	練馬区	672 045
3	大田区	650 189	大田区	654 853	大田区	658 261
4	江戸川区	621 206	江戸川区	628 441	江戸川区	636 294
5	足立区	617 197	足立区	619 427	足立区	621 500

表13-2 人口の多い上位5市町村名(平成13～15年)

順位	各年1月1日現在					
	平成13年		平成14年		平成15年	
	市町村	人口	市町村	人口	市町村	人口
1	八王子市	537 268	八王子市	541 611	八王子市	544 812
2	町田市	379 336	町田市	385 878	町田市	393 855
3	府中市	227 375	府中市	231 767	府中市	234 102
4	調布市	205 266	調布市	206 797	調布市	209 114
5	小平市	179 096	西東京市	182 493	西東京市	183 767

表13-3 人口の少ない上位5区市町村名(平成13～15年)

順位	各年1月1日現在					
	平成13年		平成14年		平成15年	
	区市町村	人口	区市町村	人口	区市町村	人口
1	青ヶ島村	208	青ヶ島村	206	青ヶ島村	201
2	利島村	299	利島村	308	利島村	307
3	御蔵島村	312	御蔵島村	312	御蔵島村	307
4	神津島村	2 139	神津島村	2 142	神津島村	2 110
5	小笠原村	2 804	小笠原村	2 785	小笠原村	2 771

(2) 人口増・人口減の大きい区市町村

平成14年中の人口の増加を区市町村別にみると、町田市の7,977人が最も多く、次いで江戸川区の7,853人、江東区の7,594人の順となった。

一方、人口の減少は、福生市の187人が最も多く、次いで、奥多摩町の159人、東久留米市の106人の順となった。

なお、平成14年中における対前年増加率を区市町村別にみると(人口規模の小さい島部を除く)、区部では、中央区の4.56%が最も高く、市郡部では、稲城市の2.47%が最も高かった。

(表14)

順位	平成12年中			平成13年中			平成14年中		
	区市町村	増減数	増減率	区市町村	増減数	増減率	区市町村	増減数	増減率
1	世田谷区	7 087	0.88	江東区	8 750	2.32	町田市	7 977	2.07
2	町田市	6 513	1.75	江戸川区	7 235	1.16	江戸川区	7 853	1.25
3	江東区	6 274	1.69	町田市	6 542	1.72	江東区	7 594	1.97
4	八王子市	5 861	1.10	練馬区	6 459	0.98	世田谷区	6 243	0.76
5	江戸川区	5 557	0.90	世田谷区	5 863	0.72	練馬区	6 070	0.91

順位	平成12年中			平成13年中			平成14年中		
	区市町村	増減数	増減率	区市町村	増減数	増減率	区市町村	増減数	増減率
1	北区	1 518	0.46	多摩市	354	0.24	福生市	187	0.30
2	多摩市	466	0.32	奥多摩町	156	2.07	奥多摩町	159	2.16
3	東久留米市	171	0.15	大島町	155	1.68	東久留米市	106	0.09
4	奥多摩町	159	2.07	日の出町	113	0.68	日の出町	95	0.58
5	葛飾区	148	0.04	檜原村	81	2.49	八丈町	73	0.77

注)人口減の大きい区市町村については、全住民避難があった三宅村を除いた。

区市町村	増減率(%)	区市町村	増減率(%)	区市町村	増減率(%)	区市町村	増減率(%)
千代田区	0.48	杉並区	0.46	府中市	1.01	東久留米市	0.09
中央区	4.56	豊島区	0.51	昭島市	1.85	武蔵村山市	0.09
港区	0.86	北区	0.07	調布市	1.12	多摩市	0.07
新宿区	1.39	荒川区	1.44	町田市	2.07	稲城市	2.47
文京区	1.06	板橋区	0.85	小金井市	0.75	羽村市	0.02
台東区	1.72	練馬区	0.91	小平市	0.79	あきる野市	0.73
墨田区	0.62	足立区	0.33	日野市	0.85	西東京市	0.70
江東区	1.97	葛飾区	0.53	東村山市	0.45	瑞穂町	1.06
品川区	0.99	江戸川区	1.25	国分寺市	1.17	日の出町	0.58
目黒区	0.81	八王子市	0.59	国立市	0.22	檜原村	2.21
大田区	0.52	立川市	0.46	福生市	0.30	奥多摩町	2.16
世田谷区	0.76	武蔵野市	0.20	狛江市	1.24		
渋谷区	0.78	三鷹市	0.96	東大和市	1.35		
中野区	0.30	青梅市	0.10	清瀬市	1.09		

注)人口規模の小さい島部を除く。